

1-2 保護者様の感想（原文のまま紹介させていただきます。）

・はしの持ち方もしっかりできています。くるむのは難しいようで、練習していくことになりそうです。

マナーについては、親もやってしまうことがあるので、今後の食事で親子で気をつけていきたいです。

・家でもおはしの練習を、頑張っていました。

・はしの持ち方、使い方を意識して過ごしていました。納豆の混ぜ方が、上手になったような気がします。

・弟もちょうど、保育園でおはしの持ち方の練習、マナーを習ってきたので、「刺しばし」や「迷いばし」をこれやったらダメなんだよね。と言いながら食べていました。のりをくるんだり、切ったりは、片手するのが難しく、両手を使っていたのですが、プリントを見て挑戦していました。普段は意識しないのですが、学校でこういった取り組みがあると本人も意識して食育していたので、続けられるよう見守りたいです。

・切る、くるむのは、むずかしいみたいで、とても苦勞していました。少しずつできるようになるといいですね。

・まだ、上手におはしを使うことは難しいですが、一生懸命に練習しているので見守っています。

・家庭でも気がついた際に、持ち方など声をかけるようにしています。はしの持ち方は食事の基本なので正しい使い方をしてほしいです。

・正しいはしの持ち方で、食事をすることが出来ていると思います。「嫌いばし」のいくつかは、今回は初めて知って、マナーを守ろうという気持ちになったようです。

大人になってからではなおせないこともあるので、素直に受け入れられる低学年のうちに、家できちんと教えられるきっかけになりました。ありがとうございます。

・マナー違反に気をつけながら、食べるようになりました。あとは、食べる時の姿勢が良くなるといいのですが……。

・「おはし名人になろう」という学習後は、意識して正しいはしの持ち方を行えるようになりました。

・ある程度の技術があり、上手に箸を使いこなしています。でも、食べる時間が長くなるにつれ集中力が失せて箸で遊んでしまいます。学校ではしないであろう事を家ではやってしまいます。

・「嫌い箸」にならないように、気をつけて箸を持っています。

・学校で学んできたことを、家でも実践しています。ごはんは、スプーンで食べるが多かったのですが、頑張っておはしで食べています。親子で意識して、正しいマナーを身につけたいと思います。

・いつも温かいご指導をいただき、ありがとうございます。「はし」についてのプリント、拝読させていただきました。学校で教えてもらった話などを子供から聞きました。自宅でも、嫌い箸については教えてきていましたが、涙ばしについては、そういった名前を初めて知り勉強になりました！！「何でもできる事は自分で」をモットーに、焼き魚なども時間はかかりますが、自分達で骨をとり、身をとって食べています。苦戦しながらも、何度も繰り返すことで上手になってきたように思います。食事を囲むみんなが、気持ちよく食べるには、マナーはとても大切だと思います。名人になるように、続けていきます。

・正しいはしの持ち方のイラストを見ながら、親子で今一度確認しました。嫌い箸、食事中に集中が欠けてしまうようになってしまうことになるので、意識して気をつけていきます。

・お家ではここまで詳しくお箸のマナーを教えてあげられていなかったもので、今回学校での学習で教えていただいたことを帰って来て、話をしてくれました。習ったことを意識しながら、毎食のごはんを食べていたのですが、難しかったり、でも上手に持てるようになろうと練習したりと楽しんでいました。

・学校から帰ったら、おはし名人について、すぐ教えてくれました。「これはだめなんだよ」と、気をつけていました。

・おはしの持ち方が難しかったです。でも、おはしの勉強は楽しかった。と言っています。今日学んだことを、忘れてないで毎日食事できるといいなと思います。ありがとうございました。

・正しいおはしの持ち方、使い方が知れて、楽しかったと言っていました。お家でも、しっかり持ち方、使い方を意識していてとても良いと思いました。おはし名人になりたいそうです。

・「今日はおはし名人の日だ～」と朝から、張り切っていました。普段から、よく注意されているので、「自分で正しく持てていると思う人？」という質問に、手をあげなかったと言っていました。給食のはしが木でしたので、ちょっと不得意でした。まだまだ、声かけが必要ですが、正しく持てるように伝えていきたいです。

・学校で教えていただいたダメなお箸の持ち方、正しい持ち方などを、家で教えてくれました。

・これから「おはし名人」に取り組むのが楽しみです。いい取り組みをありがとうございました。

・家でも、お箸のマナー、食事のマナーはきちんと教えていると思いますが、改めて学校で教わってきて、成長したように思います。日本文化としてののはしは、今では日本人でもきれいに使えない人も多い気がします。多様性を認める風潮はありますが、日本人として箸のマナー等、気をつけられる子になってほしいです。

・お家でも頑張って、おはし名人になって、おはしの使い方に気をつけてもらいたいです。

・食事中に、「私のお箸の持ち方、間違ってた。」と正しい持ち方を教えてくれました。親が何度も注意をすると、すんなりと受け入れてくれないので、このような機会をつくっていただき、嬉しいです。

・お箸の持ち方を改めて学び、子供だけでなく、親の私たちも正しい持ち方が出来ていないことに気がつきました。

一人一人に合った長さのお箸を用意して、もう一度家族で練習したいです。

